

TAKE FREE!
ご自由にお持ち帰りください。

PREMIUM HEADPHONE GUIDE

いま、聴くべき
イヤホン&ヘッドホン
最新カタログ'18冬

Winter

[プレミアムヘッドホンガイド] vol.21

特別編集
フリーマガジン

¥0

いちばん自由な音楽スタイル
完全ワイヤレスイヤホン特集



プレーヤーやアクセサリも紹介!

掲載商品には一部、配布店舗で
取り扱いのない商品がございます

ヘッドホンお買い物ガイド



ビクターロゴが配置されたパーツの部分にMMCX端子を内蔵。ハウジングから分離することで、内部の容積を確保し、音質を追求する狙いもある。

ナチュラルな響きと 高い解像感を両立 WOODの 新たな到達点

最先端の音響技術によって、ウッドにしか表現できない美しい響きと現代的な高解像度サウンドを高次元で融合させた、ビクター渾身のフラグシップが誕生！ いま絶対に聴くべき、最高峰のWOODの真価に迫る。

文／海上 忍

温かみだけでなく、緻密さも兼備する

復活を遂げた伝統の「VICTOR (ビクター)」ブランド。1927年に日本ビクター蓄音機として誕生、その後日本初のテレビ受像機を開発するなど音響／映像両軸の企業として発展するが、蓄音機に不思議そうに耳を傾ける犬のロゴからも窺えるとおり、とくに「音」にはこだわりがある。ユーザー個人の聴力特性を測定して、専用ヘッドホンで「頭外定位音場」を実現する、まったく新しいパッケージ製品「WIZMUSIC」が、ブランド復活第1弾に選ばれたことは、ひとつの証左といえるだろう。

そんなビクターから、プレミアムイヤホン「HA-FW10000」が発売された。振動板に木製素材を利用した「WOOD」シリーズの発売10周年記念というタイミングもあり、栄えあるビクターの名が冠され

たわけだが、細部まで徹底した造り込みはブランドの基本理念として掲げられる「原音探究」の姿勢そのもの。シリーズの正統進化形でありつつ、コンセプト的には原点帰帰を図ったモデルといえる。

ウッド技術は一層の深化を遂げた。新開発となる11mm口径のWOODドームドライバーには、独自の薄膜加工技術によりカバ材から50μmという薄さで削り出したウッドドームをカーボンコーティングしたPET振動板と組み合わせた「ウッドドームカーボン振動板」を採用。音の伝搬速度が速く振動の減衰特性に優れるカバの特性を生かすのみならず、2017年に発売された「SOLIDGE」シリーズに投入された「DLCドームデュアルカーボン振動板」の知見が取り入れられた格好だ。

ダイナミック型イヤホン

VICTOR HA-FW10000



開発賞



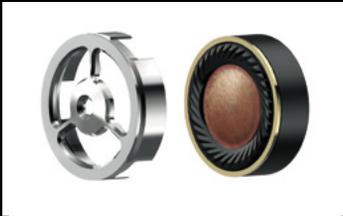
金賞

インナーイヤホン型ヘッドホン
(15万円以上20万円未満)

¥OPEN ▶投票 No.008

SPEC ●型式：ダイナミック型 ●再生周波数帯域：6~52,000Hz ●インピーダンス：16Ω
●ケーブルの長さ：1.2m ●質量：約21.5g（ケーブル除く） ●付属品：イヤーチップ（スバ
ラルドット+（プラス） イヤースペース5サイズ）、キャリングケース

ビクターだけの高音質技術



ここにしかない WOODドームドライバー

カーボンコーティングPETの中央に50μmの薄さに加工されたウッドドーム（カバ材）を組み合わせた「ウッドドームカーボン振動板」を搭載。強度に優れるチタニウムドライバーケースによって、音の雑味を排除する仕組みも盛り込んだ。



ピュアな音を実現する ステンレスノズル

剛性が高く、不要な振動を抑えるステンレス製のノズル。自然な音の広がりを表現するために、不要な音を拡散するドット（アコースティックピュリファイアー）を効果的に配置したユニークな形状を持つのも特長だ。



細部にまで 天然素材を活用

絹糸を沿わせて制振性を持たせたハイグレードオーディオケーブルを採用。そのほかチタニウムインナーハウジングの内部には四国・阿波和紙や絹綿を吸音材として配置するなど、天然素材をふんだんに用いて美しい響きを引き出す。

日本の職人芸が息づく



漆・多層塗りを施した 楓ハウジング

「音を奏でる楽器」をモチーフとし、ハウジングとウッドスタビライザーには、日本産の楓（カエデ）の無垢材を削り出して、日本の伝統工芸士が和楽器にも用いられる漆・多層塗りを施したオリジナルパーツを採用。深みのある美しい光沢を堪える。

そして、ハウジングへのこだわりは徹底している。ハウジングやウッドスタビライザーには国産の楓（カエデ）を採用、それを無垢材から削り出し、日本の伝統工芸士がひとつひとつ手作業で漆を多層塗りして硬度を高め、響きを調整するという念の入りよう。チタニウムインナーハウジングの内部には、吸音材として阿波和紙や絹綿を採用、和の素材を活用し、音の雑味を抑えている。MMCX端子部をハウジングから分離する構造により、音響設計の自由度を高めたことも音質を追求するがゆえだ。

その音は鮮麗にして典雅、緻密さと艶やかさを併せ持つ。アコースティックギターは流麗かつ木目細やかに展開するアルペジオに躍動感を覚えつつ、倍音成分の豊かさに心を動かされる。カッティング

は付帯音なくエッジが際立ち、胴鳴りは自然に収束しこもらない。ボカルの口もととは瑞々しく、ステージ上の立ち位置と奥行きもリアルに描写される。我々は木という素材にある種の温かみと曖昧さを想像してしまいが、温かみを湛えつつ曖昧さを排除したところに「HA-FW10000」という製品の真骨頂がある。

また、MMCX端子を採用するだけに、リケーブルの愉しみもある。付属のケーブルは絹糸を沿わせ制振性を持たせたハイグレードなものだが、3.5mm端子／シングルエンドのみのため、環境に応じて2.5mm端子／4.4mm端子のバランス接続を試したいところ。

この製品のさらなる深みを知るとともに、共に長く暮らせる存在となることを実感するはずだ。